

茅ヶ崎セントラルクリニック

細川 康子 (看護部長 / 看護部)

功 績 ME1名となっている熱川温泉病院透析室への応援として、同院に4月15日～19日まで滞在、透析室における業務を主導した他、看護師への指導、課題の整理などを実施した功績

推 薦 者 若林 陽盛 (事務長)

推 薦 理 由 自院における透析業務のみならず健育会グループ他病院の透析業務全般を自分事として捉える姿勢と実践力は理事長賞として相応しいと考え推薦させて頂いた。

内 容

3月31日で熱川温泉病院の透析室にて透析業務を行う職員が臨床工学技士1名になってしまうことをうけ、当院から職員の派遣を実施する旨決定した。当初は当院臨床工学技士2名をローテーションで派遣していたが、院内での情報共有ミーティングの際、細川自身が熱川温泉病院へ行き、職員の指導を行うことを提案。結果、4月15日～19日までの計5日間に渡ってお手伝いに向かうことが決定した。

15日初日は朝4時に起床、5時台の電車で熱川温泉病院に向かい、早々に透析業務に当たった。19日に熱川での業務が終了するまで、患者さんの状況の把握と信頼関係の構築をしながら、セントラルクリニックでのマネジメントもチャットツールを駆使してしっかりこなし、両院において大きなトラブル無く派遣期間を終了した。

期間中、各種の作業分析を実施し、患者さんに合わせた体位や褥瘡予防まくらクッションなどの調整、ベッドメイキングの動線を変更提案するなどの看護師の目線に立った業務提案を行い、患者さんの看護環境の改善や効率化の提案など、管理職として派遣されたその職責を全うした。

また熱川派遣後はセントラルクリニック内において、熱川温泉病院での看護オペレーションをベースに人員配置と業務について職員と共有し、少人数でも通常業務が行えるよう指導を行った。

派遣先での成果を出すことに加え、そこで学んだ経験を自院において広げようとした思考と実績は理事長賞に相応しいと考える。